

目 次

緒 言	1
第一章 確率論の基本定理	
1. 例題	9
2. 加法定理と乗法定理	13
3. 例題	16
4. ベーイスの定理	20
第二章 幾何學的確率	
5. 幾何學的確率	23
6. フーリエの定理	26
7. 確率密度	30
第三章 期望値と平均値	
8. 期望値	33
9. ベテルスブルグの問題	35
10. 確率に関する平均値	36
11. 確率に関する能率	40
12. 半不變係數	43
第四章 大數の法則	
13. 重複試行	45
14. 大數の法則	52
15. 事後確率の場合	54

16	チェビシェフの定理	59
第五章 エルミット多項式		
17	誤差論の歴史	65
18.	エルミット多項式の定義	68
19.	エルミット多項式の性質	73
20.	函数の展開	78
第六章 誤差論		
21.	ジャリエの理論	85
22.	ガウスの誤差法則	90
23.	誤差の合成	103
第七章 最小自乗法		
24.	直接観測	108
25.	間接観測	117
26.	条件附観測	130
第八章 統計系列		
27.	数理統計の歴史	134
28.	平均値と標準偏差	137
29.	レクシスの理論	144
30.	長期變動	150
第九章 度数曲線		
31.	標準型と準標準型	153
32.	極偏倚型	156
第十章 相関係数		

33.	相関係数の定義	164
34.	標準分布の場合	167
35.	回帰線	171
附録	ミーゼスの理論	175

索 引